



NHKの受信料の補助継続と 対象区域の拡大を求める意見書を採択 = 党議員団が呼びかけ

江南市議会 3月定例会が閉会しました

2月22日から開かれていた市議会定例会は3月16日に閉会しました。市長提案の議案が33件、議員提案3件のうち、日本共産党議員団は、28件に賛成、新年度当初予算や、介護保険条例関係議案など8件について討論を行って反対しました。

最終日の16日に、「NHKの受信料の補助継続と対象区域の拡大を求める意見書」が採択されました。

防衛省は、岐阜基地の騒音に悩まされている鹿子島や小杵、中般若などの地域に「騒音対策」として、防音工事とともに、NHKの受信料の一部（年上限額6995円）を補助してきました。ところが、昨年12月に「防音工事が進んだ」ことを理由に、今年3月から順次補助を打ち切るとして、説明会も開かず、対象世帯に一方的に通知してきました。

日本共産党の島津幸広前衆議院議員をはじめ、岐阜県の平和委員会などが、東海防衛支局に要

請行動を行い、愛知県平和委員会から江南市議員団にも補助の継続を求める要請がありました。

調査したところ、市内では、約900世帯が対象となり、公共施設ですとびあ江南も含まれていることがわかりました。

市は犬山市や扶桑町などと岐阜基地周辺市町連絡協



議会として「事業の継続」「対象区域の拡大」「騒音測定器の設置」等を防衛施設局に陳情していることもわかりました。

「防音工事がされていても、騒音はよりひどくなっている」「低空飛行の時などはテレビの音も聞こえない」という実態は変わらず、議会としても意見書を防衛省に提出しようと呼びかけ、騒音被害の地域に住む議員からも、対象区域の拡大も必要との声も上がり、全会一致で採択し防衛省や総務省などに意見書を送りました。

引き続き、扶桑町には設置されている騒音測定器を江南市内にも設置するよう防衛省に求めていきます。

学校トイレの洋式化が 少し進みます

市内小中学校の老朽化が激しいトイレを改修し、洋式化する予算がつきました。

国の交付金が出ることになったのを受け、宮田小学校1億2528万円と北部中学校に1億535万4千円の予算が追加提案されました。夏休み中の工事実施となる予定です。この結果

小・中学校15校中、5校が完了しますが、残り10校が未実施となり、計画的着工が望まれます。

また猛暑の夏を乗り切るために、普通教室のエアコン設置を決める自治体が増えています。子どもたちの教育環境を整備することが喫緊の課題です。



いまだに続くPCB廃棄物処理対策 処理費に8,000万円余

新年度予算にPCB廃棄物処理事業費として委託料267万7千円が計上されています。

これは、庁舎内に保管してある高濃度PCB廃棄物である廃安定器や、トランス、コンデンサーなどを処理するための準備費用です。北九州にある専門の事業所に送り処理するのは来年となり、廃棄処分費は、運搬費を含め8000万円を超えるとのことです。（処分費は



来年度予算措置)

製造中止から40年が経った今でも使用中の高濃度PCBが相当数存在するとのことです。

江南市でも、公共施設の再点検と今回の処理でも残る低濃度のPCB処理を2026年までに終了しなければなりません。市内事業所の保管や処理を把握するのは、県の事業とのことですが、チェックが必要です。